

チェンジ500

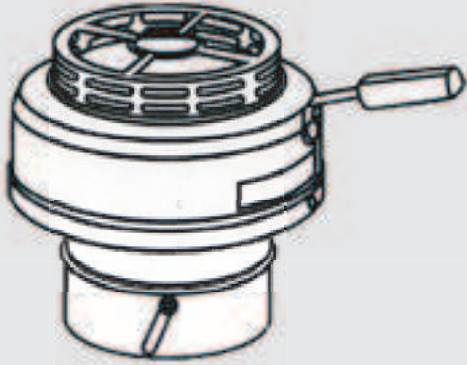
意匠登録番号：1002037号



チェンジ500

製品のご案内

ホワイトプロダクト株式会社



安全・無臭・場所を選ばない チェーフィング・ウォーマー。

「チェーフィング500」は触媒を利用した化学反応熱で発熱するため、安全・無臭・場所を選ばないチェーフィング・ウォーマーです。

従来、固形燃料が多く使われる要因は、どんな場所でも簡単に使用出来ることや、炎が上がることで受ける料理の温かさや、炎の持つ柔らかさなどが、宴会全体の雰囲気盛り上げることにあると考えられております。

しかし、昨今のように高層ビル内のレストラン、宴会場は収容人数も多くなり、防災上の面から裸火が制限され固形燃料を使える場所も減少傾向にあるのも事実です。

その点「チェーフィング500」は炎を一切出さず、万一の場合でも災害を起こす事が少なく、安全面に優れた製品です。しかも、使いやすさは固形燃料と変わらず簡単で、まさに災害対策が重視される時代にふさわしい熱源と言えます。

いわゆる電気ウォーマーの場合は、使用の際にコンセントの数量や場所、容量に制限があり、配線等を自由に変えることが難しくなります。

「チェーフィング500」は、これらの問題を解決し、どんな場所でも必要な数がお使いいただけ、コード等の配線に苦勞せず、お客様の足元をスッキリとさせることが可能になります。

安心で無臭、場所を選ばないチェーフィング・ウォーマー「チェーフィング500」をぜひご活用ください。



NO.265-W チェーピング500

- サイズ:径125×高さ60mm



NO.256-W 高さ調節アジャスター

- サイズ:径91×高さ30mm



NO.260-W 反応剤メタ500(110g)

- 入数:120缶
- サイズ:径88×高さ34mm
- 連続使用時間:3時間



NO.261-W 反応剤メタ500(160g)

- 入数:96缶
- サイズ:径88×高さ48mm
- 連続使用時間:5時間

「チェーフィング500」は触媒を利用した化学反応熱で発熱するチェーフィング・ウォーマーです。

触媒は複数の物質と混ざり合い化学反応をする際に、それらをつなぎ合わせ、反応を促進させる性質をもっています。

上部



底部



「チェーフィング500」の本体には網状の触媒が内蔵されています。

この網状の触媒に「反応剤メタ500」から蒸発したアルコールが接触し、酸素と混ざり合い、酸化反応を起こして熱を出します。

このメカニズムにより、十分な空気が供給された場合には、反応生成物はほとんど害のない二酸化炭素（炭酸ガス）と無害の水になりますので、臭気の発生もありません。

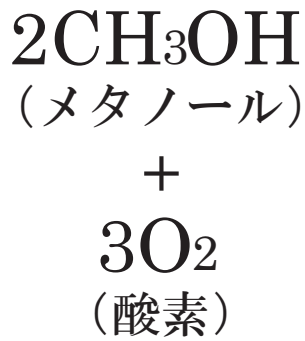
また、物質をつなぎ合わせ反応させる時でも、触媒自体は化学反応を起こしたり消耗したりすることはありません。

そのため、通常のご使用で器具の性能が低下することはありません。

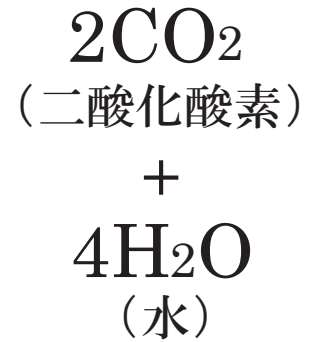


使用条件にもよりますが、本体の表面温度は約360～400℃になります。

熱量は電気式ウォーマーや火口調節をした固形燃料と同じくらいです。



ここで触媒が
働きます！



発熱後の反応生成物は
無害・無臭です！

チェーフィング500本体内部の
触媒上で酸化反応して発熱！

熱源は電気も裸火も
使用せずに**安全**です！

※ 画像はイメージです。実際に使用するときは「チェーフィング500」
本体は「反応剤メタ500」の上部に設置します。

1. メタノールが蒸発し、触媒に接触します。
2. 蒸発したメタノールが、触媒上で酸素と反応を起こす状態は酸化反応です。（※ 空気上でメタノールが燃える反応と同じです）
3. メタノールは酸化され、二酸化炭素と水になります。その時に熱を放出します。



- ① スタンド底面に「高さ調整アジャスター」をセットしてください。
(注：スタンドは別売です。)



- ② アジャスターの天面に「反応剤メタ500」をズレないようにセッティングしてください。



- ③ 「反応剤メタ500」の上部に「チェーピング500」をしっかりとセットしてください。



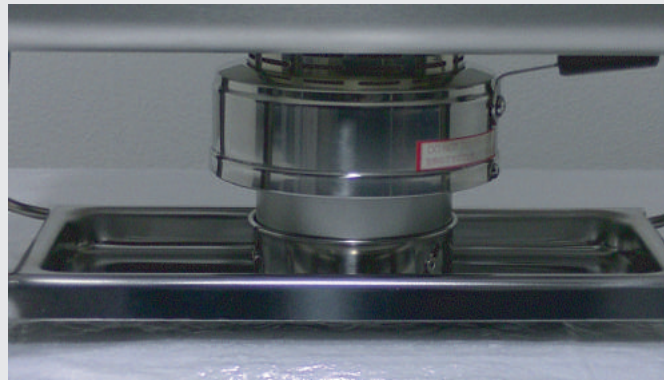
- ④ 「チェーピング500」が倒れないようにウォーターパンをセットしてください。
(注：ウォーターパンは別売です。)



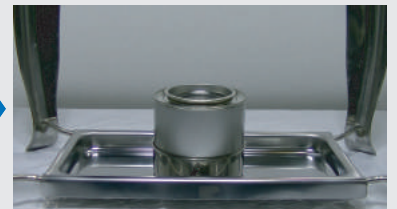
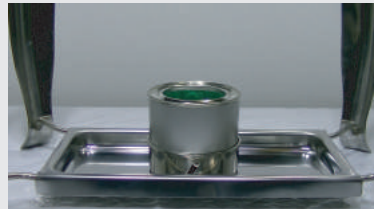
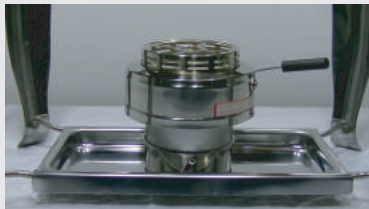
※「チェーピング500」の上部にウォーターパンの底部が接触している事を必ず確認してください。



- ⑤ 料理パンをセットしセッティングは完了です。



セット後、約10分で最高温度に達します。
(※ 使用環境によって異なります。)



保温を中断する場合は「チェーフィング500」と「反応剤メタ500」を分離すれば
燃焼反応が止まります。

「反応剤メタ500」のフタを閉めるときは、缶全体が完全に冷えたのを確かめてから
行ってください。

熱反応シール



チェーフィング500の側面には「熱反応シール」が貼られています。本体が発熱する前は**緑色**になっています。



発熱をし始めると**赤文字**の表示が浮かび上がってきます。



この**赤文字**の表示が出ている時は、**火傷の危険がありますので、**
本体には絶対に触れないように注意してください。
(本体側面：50℃以上)



赤文字の表示が消えるまで、本体には触らないようにしてください。
本体側面が35℃以下で**赤文字**の表示は消え、**緑色**に戻ります。

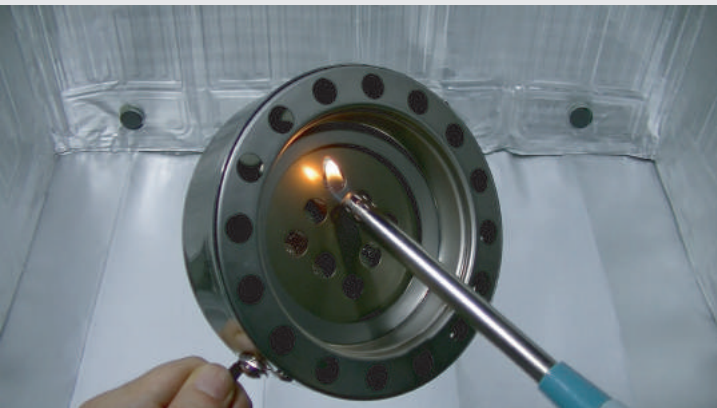
プレヒートのすすめ

チェーフィング500

触媒の能力を十分に発揮させるためには、触媒自体が乾燥した状態であることと、ある程度の温度が必要です。プレヒート（予熱乾燥）を行うと保温状態の立ち上がりがスムーズに行えます。

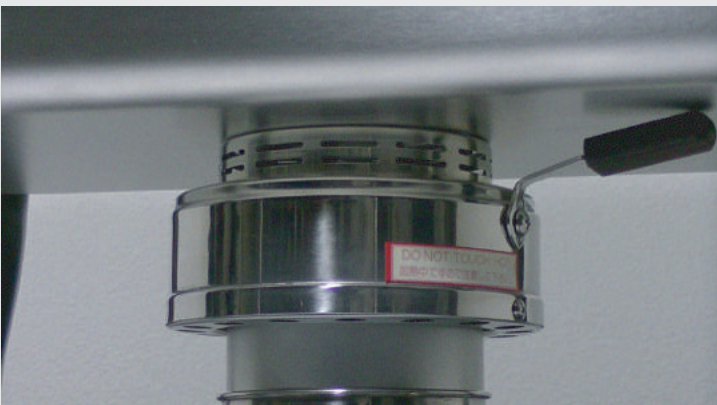


「チェーフィング500」の本体内部にある網部分に「湿気」が残っていると、「メタ500」との反応が鈍り、保温状態の立ち上がりが遅くなります。



本体を使用する前に、ガスマッチまたはコンロ等でプレヒート（予熱乾燥）を行うことによって、触媒反応が促進され、保温状態の立ち上がりが早まります。遠火で約5秒～10秒ほどの短い時間で十分に乾燥されます。

（※ 本体が熱くなっている場合がありますので、火傷をしないように注意して行ってください。）



プレヒートによって、湿気の多い日や気温が低い時でも、速やかに保温状態の立ち上げを行うことができます。

取扱上の注意

1. 専用反応剤メタ500以外は使用しないでください。
2. 湿気の少ない場所に保管してください。
3. 本体を分解・改造しないでください。
4. 触媒ユニットが破損したのものや、長期使用して反応が遅くなった場合は別売の新しいものと交換してください。

保管上の注意

1. 触媒部分に傷が付かないよう保護するとともに、湿気のないところに保管してください。また長期間使用しない場合は、ビニール袋等に入れてください。
2. 使用後は、本体・反応剤が熱くなっておりますので、冷えたのを確認してから保管してください。取扱上の注意書きをよくお読みいただき、安全にお使いいただけますようお願い申し上げます。

メンテナンス方法

1. 水・ソース・スープ等の水分が付着した場合は、チェーフィング500本体を逆さにして、直接触媒面を固形燃料・ガスマッチ等の火で加熱し、水分を蒸発させてください。
2. 料理等の固形物が付着した場合は、それらを取り除き自然乾燥させてから、触媒面に残っているものを完全に落としてください。触媒面を完全に乾燥すれば、元のように使用出来ます。